

製品名: CBP 35 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab08040**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	33kDa

抗原情報

遺伝子名	LGALS3 LGALS3; MAC2; Galectin-3; Gal-3; 35 kDa lectin; Carbohydrate-binding protein 35; CBP 35;
別名	Galactose-specific lectin 3; Galactoside-binding protein; GALBP; IgE-binding protein; L-31; Laminin-binding protein; Lectin L-29; Mac-2 antigen
遺伝子 ID	3958.0
SwissProt ID	P17931
免疫原	抗血清はヒトガレクチン 3 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 141-190

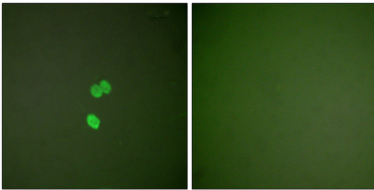
背景

この遺伝子は、糖結合タンパク質であるガレクチンファミリーのメンバーをコードしています。このタンパク質ファミリーのメンバーは、 β -ガラクトシドに親和性があります。コードされているタンパク質は、N末端のプロリンリッチなタンデムリピートドメインと、単一のC末端糖鎖認識ドメインを特徴としています。このタンパク質は、N末端ドメインを介して自己会合し、多価糖リガンドと結合することができます。このタンパク質は、細胞外マトリックス、細胞質、核に局在します。このタンパク質は、アポトーシス、自然免疫、細胞接着、T細胞制御など、多くの細胞機能に関与しています。このタンパク質は、細菌および真菌に対して抗菌活性を示します。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じます。[RefSeq 提供、2014年10月]、機能: IgEに結合するガラクトース特異的レクチン。 $\alpha 3$ 、 $\beta 1$ インテグリンと共に、CSPG4による内皮細胞遊走刺激を媒介する可能性がある。DMBT1と共に、初期胚発生における円柱上皮細胞の終末分化に必要である。、オンライン情報: ガレクチン3類似性: 1つのガレクチンドメインを含む。、細胞内局在: 腺腫および癌腫では細胞質内に存在する。非古典的な分泌経路によって分泌され、細胞表面に結合している可能性がある。、サブユニット: おそらくホモ二量体またはヘテロ二量体を形成する。DMBT1と相互作用する(類似性による)。ITGA3、ITGB1、およびCSPG4と複合体を形成する。LGALS3BP、LYPD3、CYHR1、およびUACAと相互作用する。、組織特異性: 結腸上皮で主要な発現が認められる。活性化マクロファージにも豊富に存在する。、

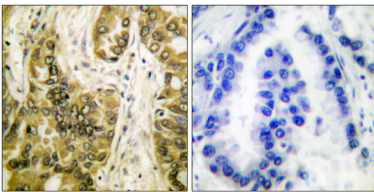
研究分野

神経科学

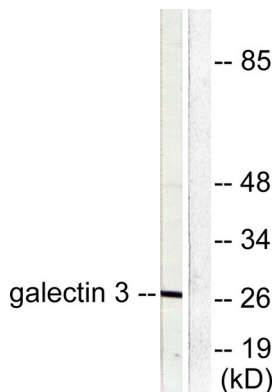
画像データ



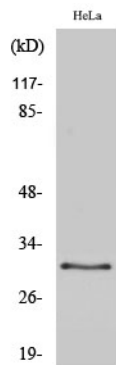
ガレクチン3抗体を用いた NIH/3T3 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



ガレクチン3抗体を用いたパラフィン包埋ヒト肺癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



ガレクチン3抗体を用いた HeLa 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーン
は合成ペプチドでブロッキングされている。



CBP 35 ポリクローナル抗体を 1: 2000 に希釈して様々な細胞をウェスタンブロット分析した。